

この度、NPO法人コミュニティバスを通す会が、平成18年5月1日に法人成立致しました。私たち国道402号線沿いに居住する住民は南北の交通手段がありません。平成19年4月1日、日本海唯一の80万政令都市誕生に合わせ長年の悲願である116号線の山越えが出来る、バス路線運行実現に向けての活動を展開してまいりました。



コミュニティバスの運行実現に向けて  
NPO法人 コミュニティバスを通す会

理事長 本間信一

待ちに待った循環バス

坂井輪  
コミュニティ  
Q  
キュー  
バス

第1号 2006年7月

発行  
NPO法人 コミュニティバスを通す会  
新潟市松海が丘4丁目3番8号  
TEL 025-231-2479

コミュニティバスの運行により高齢者が病院、憩いの家、ホームセンター、スーパーなど安心して行く事が出来ます。区役所や文化的な施設、公民館、市民会館、図書館なども気軽に利用出来ます。お勤めの方も一家に2台3台の車は必要なくなり、排ガス公害、渋滞、騒音も緩和され環境の良い政令都市新潟の誕生実現にお役に立てばと思います。

今後もコミュニティバス運行実現にご理解ご協力お願い申し上げます。

田園型政令指定市については、市民の間では既に定着しており、行政においては実現に向けて着々と準備が進められている。合併後、区制は8区体制に決まり、分権型の社会が具体化してきている。その中で、市民生活向上に欠かせない交通の利便性の確保は大きな課題となってきた。

近年、都市構造の変化、郊外進出の大型商業施設、また自家用車の普及などによるバス利用者変化など、バス路線廃止や変更などを余儀なくされてきている現状である。

新たなバス路線の設置、その中でも南北に通じる小回りのバス運行を求める声は日増しに高まってきている。

政令指定都市移行後の区制導入に向けた区バスの運行、いわゆるコミュニティバスの運行については、2月議会において明確に市長から発言がなされた。一方、坂井輪地域内にNPO法人コミュニティバスを通す会を立ち上げ、7区において2万人を超える署名がな

副団長	佐藤 幸雄
幹事長	田村 清
副幹事長	中川 征二
	小林 義明
	高橋 三義

され、住民の関心は高く、住民運動として大きく動き出している。7区の人口は、約16万1千人、学校、公共施設、医療機関、商業施設が点在し、国道、県道、市道があり、越後線は7区に7つの駅を有し、また、地域内は起伏のある形状地でバスの導入は欠かせない地域である。

こうした状況を見るにつけ、一刻も早い導入を図っていかねばならない。

我々坂井輪議員団は、地域全体で、市が進める区バス運行を含め地域住民の皆さんと連携を持ちながら利便性の高い交通網の充実とまちづくりを目指していくことを決意するものである。



十日会 (坂井輪議員団)

団長 古川 久

7区の要の事業として

発刊によせて

このバスは、地域の皆様に立ちあげ、地域の皆様に運営していく事が基本になります

利便性が高く、安い運賃でのバスを運行する為には、5台の設備が最低必要になってきます。バスの停留所も片側40ヶ所、左・右まわりにすると80ヶ所、事務所の開設等、当初設備費5千万円の見積もりになります。沿線住民の皆様一人でも多くの方々のコミュニティバスを通す会へのNPO法人への入会と、多少にかかわらず設備費の為に寄付金をお願いしたいと思います。

NPO法人の会員になって下さい

個人 1口	1,000円	コミュニティ誌の発送
10口	10,000円	10,000円分回数券の配布予定
団体 1口	10,000円	コミュニティ誌の発送
協賛企業1口	50,000円	コミュニティ誌の発送
※特典	協賛企業には毎年、無記名年間パス券1枚贈呈予定	
ご入会頂いた方々はコミュニティ誌、ホームページ等に随時記載		

寄付はこちらへ

皆様方からのご寄付によって設備費が調達されます。金銭の多少にこだわらず、ぜひご寄付をお願い申し上げます。ご協力頂ける自治会単位、各種団体単位で集めて頂ければ幸いです。

ご寄付頂いた金額、10,000円以上の方々については、個人、企業、団体にかかわらず、コミュニティ誌、ホームページ等に随時掲載させて頂きたいと思っております。

- 振込先 -

郵便振替	00510-1-95665	NPO法人 コミュニティバスを通す会
第四銀行	坂井支店 (普)	代表 本間信一
北越銀行	寺尾支店 (普)	〒950-2075
大光銀行	寺尾支店 (普)	新潟市松海が丘4丁目3番8号
新潟信用金庫	坂井支店 (普)	電話 025-231-2479

企業の運行協力を!

コミュニティバス”Qバス”の運行趣旨に賛同し、運行を支援して下さる「運行協力企業」を募集しております。「地域ぐるみで運行するバス」を目指し、市内企業や事業者のみなさまにもコミュニティバス事業にご協力いただきたいと考えております。運行協力企業のお名前は、車体や停留所への広告・コミュニティ誌への掲載等を通じて、企業・事業者のみなさまの地域貢献を市民のみなさんにPRいたしますので、ぜひご協力をお願いいたします。

今までの経過

H17年 6月	R402地域整備促進協議会として署名活動を決議
H17年10月	1万人の署名簿を持って新潟市と新潟交通へ要望
H17年12月	「コミュニティバスを通す会」設立総会
H17年12月	NPO法人の設立申請
H18年 5月1日	NPO法人「コミュニティバスを通す会」成立、登記完了
H18年 6月5日	R402地域整備促進協議会総会に経過説明と今後の協力要請

今後のスケジュール

H18年 7月	運行実行委員会の立ち上げ NPO法人「コミュニティバスを通す会」の入会、寄付金募集 コミュニティ誌の発行
H18年10月	「坂井輪にコミュニティバスを走らせる会」を設立予定
H19年 1月	運行のためのアンケート調査
H19年1~3月	運行準備
H19年 4月	運行予定



# 20,770人の署名集る

平成18年6月30日現在

## みんなの熱意で実現を!!

### 新区役所への足

平成17年6月、R402地域整備促進協議会の議決を経て、署名活動が始まりました。特に402号沿線の住民にとっては、政令指定都市の施行に伴い、区役所が坂井輪地区事務所になることから区役所に行くバスがなく、車がない人たちにとっては非常に不便であります。今までも、西バイパス方面に行く交通手段がないことから病院に行けない、買い物に行けない等利便性が悪い声が多くあがっておりました。そのことから署名活動も瞬く間に広がり、平成17年10月、一万人の署名簿を持って新潟市と新潟交通へ要望書を提出してまいりました。新潟市としては前向きに検討、また、新潟交通は直接事業化はできないが、地域住民のコミュニティバスとして運行していくことになれば色々な形で協力してくださるとの回答でした。

その後も実現に向けて「NPO法人コミュニティバスを通す会」の申請とともに署名活動を継続しており、6月末日現在、お蔭様で2万770人の署名が集まりました。

- |            |           |             |
|------------|-----------|-------------|
| 松海が丘第一自治会  | リバーハイツ関分  | 新潟西リトルリーグ   |
| 松海が丘第二自治会  | 虹の根       | 亀貝自治会       |
| 松海が丘第三自治会  | 青山寮       | 亀貝若葉自治会     |
| 松海が丘第四自治会  | 南五十嵐      | 小新二重辻       |
| 清心町自治会     | 寺尾駅前中央自治会 | 小新緑苑        |
| 興人寺尾団地     | R116リーグ   | 小新南         |
| エバーグリーン五十嵐 | 小針橋町自治会   | 上新栄町第三      |
| 上新栄町第五自治会  | 寺尾山の手自治会  | 青山上山        |
| 上新栄町第六自治会  | 小針中町自治会   | 小針藤山        |
| 真砂2丁目自治会   | 寺尾新町東和自治会 | 明倫短期大学      |
| 真砂3丁目自治会   | 寺尾中央公園自治会 | 小針幸町        |
| 真砂4丁目自治会   | 晴美団地      | 寺尾中町        |
| 有明町自治会     | 坂井中団地自治会  | 上新栄町第四      |
| 松美台第一自治会   | 坂井輪団地     | 信愛病院        |
| 松美台第二自治会   | 白鳥団地      | 更生慈仁会       |
| 青山三区       | 寺尾駅前団地    | 新潟科学技術学園    |
| 西有明第一      | 寺尾新町第二自治会 | 大学東が丘       |
| 有明第二       | 寺尾東2丁目自治会 | オアシス会       |
| 浦山1区       | 寺尾上四東自治会  | 五十嵐2の町東     |
| 浦山3区       | 坂井東3丁目自治会 | 清心女子中学・高校   |
| 浦山4区       | 寺尾新町第一自治会 | 西総合スポーツセンター |
| 浦山5区       | 小針弥生町自治会  | 上新栄町第一      |
| 浦山6区       | 小針東仲町自治会  | 寺尾西新町       |
| 浦山8区       | 道路公園小針自治会 | 寺尾西2・4      |
| 浦山10区      | 小針自治会     | 企業・その他      |
| 浦山中央区      | 須賀団地      | (順不同)       |
| サンシャイン青山   | ときめき西4丁目  |             |

### 署名にご協力頂いた団体名

# 20,770人の署名集る

平成18年6月30日現在

## みんなの熱意で実現を!!



新潟清心女子中学校 校長 三宅 聖子

地区にコミュニティバスを走らせるといふ計画を伺って、大変喜んでおります。ぜひ実現したいと思っております。

海岸に並行には四〇二号線、一一六号線、大堀幹線などいくつかあるバス路線ですが、それらを結ぶ路線が乏しいことで、近い地域でも実際には繋がりにくく、たいへん不便です。それだけでなく、地区の一体化が妨げられているようにも感じておりました。

本校には、各方面からバスで通学する生徒、電車を利用して新大前駅で乗降する生徒がおります。現状では、何度も乗り換えたり、大回りをしたりという通学を余儀なくされております。交通が不便なために、入学をあきらめたという声を聞くことさえあります。また、個人的にも五十嵐一の町の住民として、内陸方面の公共施設、病院や商店に出かけたいと思っても、バス等の公共交通機関がないために、なかなか不自由を感じております。車を持たない、運転しない住民でも、地

区内はもう少し自由に歩き来し、交流できるようなならなければと、新しい交通網を切望していました。

新潟は暮らしを豊かにするものを数多く持つ土地だと思います。私たちの地区にも、豊かな自然があり、便利なショッピングセンターがあり、文化・スポーツの公共施設もあります。教育機関も保育園・幼稚園から大学まである地区です。また、病院や福祉施設もあり、高齢者や体の不自由な方々の行き来の多い地区です。地区住民の誰もが、各施設等を利用し、機会を享受し、暮らしの質をより高めるために、そして、地区外の人が多く訪れ交流するために、循環バスは欠かせないものです。循環バスを一つのきっかけとして、私たちの地区を、新潟市において、便利に住みやすい暮らしの中心にして行ければと夢を描いています。コミュニティバスを、力を合わせて、ぜひ実現しましょう。



待たれるミニ循環バス 興人寺尾団地自治会 小林 勇

81万人都市新潟は、政令指定都市移行後の区制導入に向けて着実に動き出した。私たちの地区は7区に属し、人口16万人を擁する都市「西区」となる予定である。

中心となる区事務所(本庁)は現在の坂井輪地区事務所と、西地区事務所(支所)の2本建てになると聞く、従来の利便性は維持できそうである。しかしこの地域の地形が示すように、海岸線に沿う砂丘台地が馬の背型となっていて、東西の方向を主体とした開発が繰り返され、

結果的に南北への方向性は軽視されてきた歴史があり、南北間の交流実現が待たれていたところである。

なにはともあれ、区制を契機に公共的施設を巡る循環バスの運行の必要性が囁かれていた。区制を契機にNPO法人「コミュニティバスを通す会」が設立され、活動を始めたことが喜ばし。

問題は山ほどあると聞く、皆の力を信じ、前進しようではありませんか。そして地域内に残り残される所の無いよう努力しようではありませんか。

### 期待しています

松海が丘4丁目 三國 京子

この地に居住して30余年、当時は産業道路(国道402号線)沿いの家もまばらな状態でしたが、現在は会社や商店・住宅が軒を列ね、海岸道路(同バイパス)の開通、飛砂の改善など生活環境も大きく変わってまいりました。

この度、平成の大合併により、新潟市もいよいよ2007年には政令都市に参入、区割制度が実施されます。その実現に期待しております。一市民ですが、区役所や病院・大型スーパーなどが、国道116号線の丘陵地を越えた南側に集中しております。現在、居住地から南側に行くための、公共の交通機関はありませんので、マイカーやタクシーを利用するしか方法はありません。

私は残念乍ら車の運転ができません。南側に用のある時は主人に頼るしかありませんし、主人が不在時には、やむを得ずタクシーを利用しております。私と同じ境遇の方や、ご主人がいらっしゃっても、

高齢で車の運転ができない方も沢山おられると思われまます。

このような問題解決のため、多くの自治会長さんが協力しあい、NPO法人「コミュニティバスを通す会」を設立し、402号線と南側を左右で循環するバス路線開通に、尽力されていると聞きまし。生みの苦労は大変でしょうが、地域の利便性・活性化のため、是非ともコミュニティバスを開通していただき、この地域がまた一段と『住み良い街』にレベルアップすることを、心から期待しております。



老人クラブ清寿会 会長 霜鳥 耕司

国道402号と坂井輪地区を結ぶ「循環バス路線」の構想のあることを拝聞した。この路線は国道402号から116号を通り坂井輪地区の生活関連施設を巡るとのことである。

当地区(国道402号線沿い)を通過する路線バスは内野地区から市中心部へ向かう東西線のみである。したがって坂井輪地区への用事は自家用車かタクシーを利用するしか方法がない。坂井輪地区には生活関連の大きな施設即ち地区事務所、大病院、学校等がある。当地区は西

スポーツセンター、清心女子中高、信愛病院始め各病院が、そして大海原が広がる日本海がある。

東西線は平坦の道だが南北線は山坂が多く当老人クラブの会合では「年と共に山坂はきつい」との声が出ている。老人の意見ばかりではなく、この南北線は一般市民にとって快適な生活を送るための必要不可欠からざるものと考えている。よって「循環バス路線」の開通を強く望むものである。

